

平町の隣地合併に好機運を見せる 向録田の有志に合併を説く相当な理由

平町は單獨市制を施すべくする平窪村川中子方面も...

平町と合併を唱へられて来た理由も夏井川の橋一ツの距離で向録田と稱される同地は...

平町に於て毎年五月一日を以て調査する小學生の現在數...

石城郡に於ける米問題の重要 性其の検討 外山生 承前

現内閣の最難關たるは統帥問題、次いで財政並に社會問題としての失業救濟...

第五章 中學校 大内 民 惠

それから此の大學出身で中等學校の教員になる人々は...

愛谷堰第二期工事 近々急ぎ着手 堰の改修に十五萬圓余 堤、遠藤兩技師の踏査

石城郡の愛谷堰は先年の第一期に於ける工事成績が各期...

平町の隣地合併に好機運を見せる 向録田の有志に合併を説く相当な理由

平町は單獨市制を施すべくする平窪村川中子方面も...

平町と合併を唱へられて来た理由も夏井川の橋一ツの距離で向録田と稱される同地は...

第五章 中學校 大内 民 惠

それから此の大學出身で中等學校の教員になる人々は...

愛谷堰第二期工事 近々急ぎ着手 堰の改修に十五萬圓余 堤、遠藤兩技師の踏査

石城郡の愛谷堰は先年の第一期に於ける工事成績が各期...

平町の隣地合併に好機運を見せる 向録田の有志に合併を説く相当な理由

平町は單獨市制を施すべくする平窪村川中子方面も...

平町と合併を唱へられて来た理由も夏井川の橋一ツの距離で向録田と稱される同地は...

第五章 中學校 大内 民 惠

それから此の大學出身で中等學校の教員になる人々は...

愛谷堰第二期工事 近々急ぎ着手 堰の改修に十五萬圓余 堤、遠藤兩技師の踏査

石城郡の愛谷堰は先年の第一期に於ける工事成績が各期...

平町の隣地合併に好機運を見せる 向録田の有志に合併を説く相当な理由

平町は單獨市制を施すべくする平窪村川中子方面も...

平町と合併を唱へられて来た理由も夏井川の橋一ツの距離で向録田と稱される同地は...

第五章 中學校 大内 民 惠

それから此の大學出身で中等學校の教員になる人々は...

愛谷堰第二期工事 近々急ぎ着手 堰の改修に十五萬圓余 堤、遠藤兩技師の踏査

石城郡の愛谷堰は先年の第一期に於ける工事成績が各期...

平町の隣地合併に好機運を見せる 向録田の有志に合併を説く相当な理由

平町は單獨市制を施すべくする平窪村川中子方面も...

平町と合併を唱へられて来た理由も夏井川の橋一ツの距離で向録田と稱される同地は...

第五章 中學校 大内 民 惠

それから此の大學出身で中等學校の教員になる人々は...

愛谷堰第二期工事 近々急ぎ着手 堰の改修に十五萬圓余 堤、遠藤兩技師の踏査

石城郡の愛谷堰は先年の第一期に於ける工事成績が各期...

平町の隣地合併に好機運を見せる 向録田の有志に合併を説く相当な理由

平町は單獨市制を施すべくする平窪村川中子方面も...

平町と合併を唱へられて来た理由も夏井川の橋一ツの距離で向録田と稱される同地は...

第五章 中學校 大内 民 惠

それから此の大學出身で中等學校の教員になる人々は...

愛谷堰第二期工事 近々急ぎ着手 堰の改修に十五萬圓余 堤、遠藤兩技師の踏査

石城郡の愛谷堰は先年の第一期に於ける工事成績が各期...

平町の隣地合併に好機運を見せる 向録田の有志に合併を説く相当な理由

平町は單獨市制を施すべくする平窪村川中子方面も...

平町と合併を唱へられて来た理由も夏井川の橋一ツの距離で向録田と稱される同地は...

第五章 中學校 大内 民 惠

それから此の大學出身で中等學校の教員になる人々は...

愛谷堰第二期工事 近々急ぎ着手 堰の改修に十五萬圓余 堤、遠藤兩技師の踏査

石城郡の愛谷堰は先年の第一期に於ける工事成績が各期...

平町の隣地合併に好機運を見せる 向録田の有志に合併を説く相当な理由

平町は單獨市制を施すべくする平窪村川中子方面も...

平町と合併を唱へられて来た理由も夏井川の橋一ツの距離で向録田と稱される同地は...

第五章 中學校 大内 民 惠

それから此の大學出身で中等學校の教員になる人々は...

愛谷堰第二期工事 近々急ぎ着手 堰の改修に十五萬圓余 堤、遠藤兩技師の踏査

石城郡の愛谷堰は先年の第一期に於ける工事成績が各期...

平町の隣地合併に好機運を見せる 向録田の有志に合併を説く相当な理由

平町は單獨市制を施すべくする平窪村川中子方面も...

平町と合併を唱へられて来た理由も夏井川の橋一ツの距離で向録田と稱される同地は...

第五章 中學校 大内 民 惠

それから此の大學出身で中等學校の教員になる人々は...

愛谷堰第二期工事 近々急ぎ着手 堰の改修に十五萬圓余 堤、遠藤兩技師の踏査

石城郡の愛谷堰は先年の第一期に於ける工事成績が各期...

平町の隣地合併に好機運を見せる 向録田の有志に合併を説く相当な理由

平町は單獨市制を施すべくする平窪村川中子方面も...

平町と合併を唱へられて来た理由も夏井川の橋一ツの距離で向録田と稱される同地は...

第五章 中學校 大内 民 惠

それから此の大學出身で中等學校の教員になる人々は...

愛谷堰第二期工事 近々急ぎ着手 堰の改修に十五萬圓余 堤、遠藤兩技師の踏査

石城郡の愛谷堰は先年の第一期に於ける工事成績が各期...

平町の隣地合併に好機運を見せる 向録田の有志に合併を説く相当な理由

平町は單獨市制を施すべくする平窪村川中子方面も...

平町と合併を唱へられて来た理由も夏井川の橋一ツの距離で向録田と稱される同地は...

戯曲

彼と彼女を
なぜそう
させたか (二)

正木生投

白い若さを持つ彼女の顔に
先程から見とれてゐた、野
々村は朝雄の呼ぶ言葉によ
つて、初めて兄妹でない事
を知つた彼はとんだ所に来
たもんだなと思ふやうな
れくしの事を幾子に浴せ
かけた、

野村「朝雄君、君の妹さん
かい」

朝雄「いやそうぢやないん
です、友達なんです、
暫らくぶりで訪ねてく
れた人なもんですから
今から夕食でも一シヨ
にたべに行かふかと思
つてたんですよ、

野村「いやア、そうですか
それぢや丁度「ナイス」
チャンス」だつたよ、
僕もまだ夕食がすまん
もんですから君と一シ
ヨにと思つて僕はやつ
て来たんだよ、じや一
諸に行かうか、僕がい
つてご都合が悪いなら
ばご遠慮申上げるけど
も、ごうだい君、悪く
ないかい」

朝雄「結構ですよ野々村さ
んとご一諸なら僕も何
んとなく心強く考いら
れますから、お伴いた
しませうどうだい幾
ちゃん、嫌でないでせう
幾子一え、結構ですわ一初
めて返事の出来たこと
を自分自身はめそやす

かのように無言のまま朝
雄の目に對して謝した
と云ひますから野々村
さん何處かへ行きませ
うよ、

野村「ぢや何處にしやうか
ね、君の好きな越の家
へでも行かうか、
今晩の勘定を野々村さ
んあなたが拂つて下さ
るならどこまでも行き
ますよ、貴所のご指示
下さいます所に行きま
すよ、


野村「どうですか、それな
らば(一寸時計をポケ
ットから取出して)七
時五分ばかり前だから
湯本にでもドライツツ
しやうかね、

朝雄「結構ですな、湯本と
は全く野々村さん近來
の名案ですよ、僕は僕
あなたの事だから「田
毎」にでもつれて行か
されるかと思つてゐた
のですよ」全く貴郎も
近來めくくその方面
に對する考察力と人間
に對する推思力の發達
には僕敬服しますね貴
郎が湯本へ「ドライツ
ツ」するなんて事は全
然今迄なかつたでせう
よ、幾ちゃん貴女湯本
てところ知つてる知ら
ない、

かのように無言のまま朝
雄の目に對して謝した
と云ひますから野々村
さん何處かへ行きませ
うよ、

看護婦の求め
に應じます
平看護婦會
電話三〇七番


のきわひお様皆
ラヒターエフカ
番〇二六話電・前驛平



面白く
お安く
料理御
尼忠
平新田町
電話八六五番



お兒様同伴
のご散歩に
保健と衛生
を兼ねたる
乳母車各種
平町三丁目 電話三五九番
各種丸ほん



玉屋洋品店
平町四町通電話六五六番

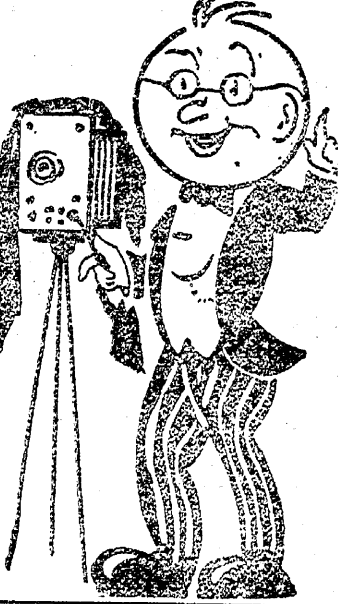


玉章堂
三丁目元郡役所通

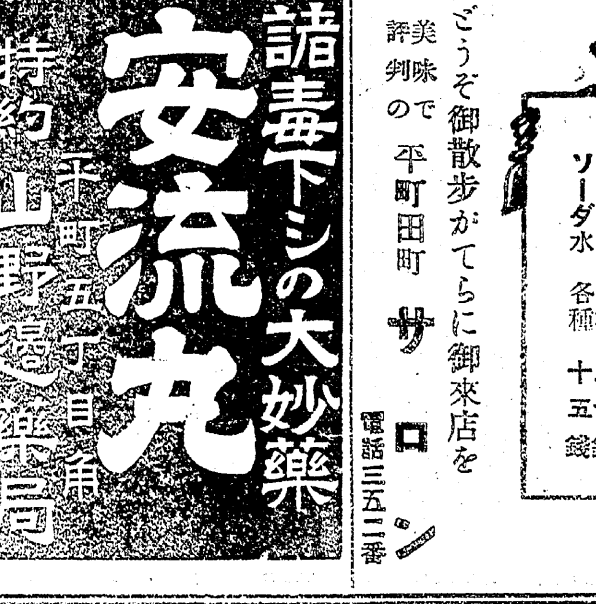


玉章堂
印刷 彫刻
遠藤活版所
電話七四三番

大野寫眞館
平町仲田町



安流丸
持約山野遠藥局



サロンの新装
樽詰生ビール並に
タンク入ソーダ水
ソコツキ一杯 五十五錢
ソーダ水各種 十五錢

山崎會社
味噌醬油
正宗
御進物には
商品切手

